

17章のプロジェクトを作成、実行するには下記のような準備が必要です。

[1] java システムのパスを環境変数に登録する

[2] プロジェクトを作成する際にプロジェクトレイアウトを変更する

[1] java システムのパスを環境変数に登録する

456 頁で次のようにして java コンパイラを起動しています。

```
c: ¥myspace¥chap17>j avac sampl e/RunTest. j ava
```

このようにするには Java システムの所在を Windows の環境変数 path に登録しておく必要があります。以下の手順により、その作業を行ってください。

《環境変数への登録手順》

1. java システムの所在を確認する

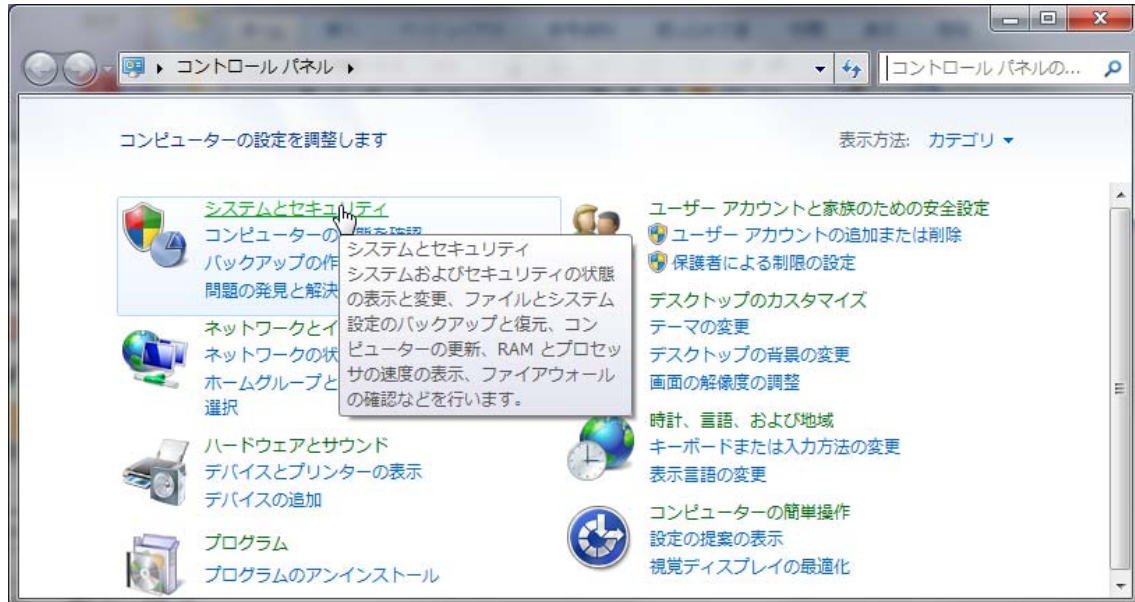
java の開発システムである JDK をインストールしたフォルダがどこにあるか、確認してください。「ダウンロードとセットアップの方法.pdf」では「3.JDK のインストール」で c:¥にインストールするよう推奨していますので、この通りにしているならば c:¥java が Java システムの所在ということになります。

java システムのあるフォルダの中に、bin というフォルダがあります。この中にはコンパイラや Java バージョンマシンなどの実行ファイルがあります。これらが Java システムです。環境変数には、以下の手順で、この bin フォルダの所在を、**c:¥java¥bin** と指定してください。

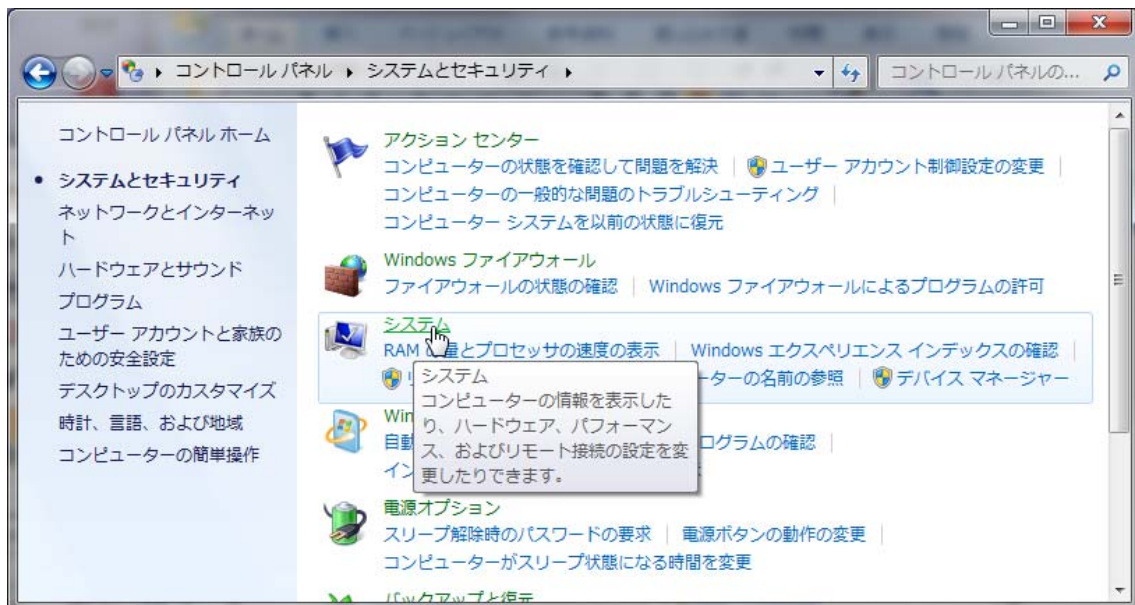
なお、独自の場所に JDK をインストールした場合はそのフォルダに読み替えてください。

2. コントロールパネルを起動し、以下のようにして環境変数を登録します。

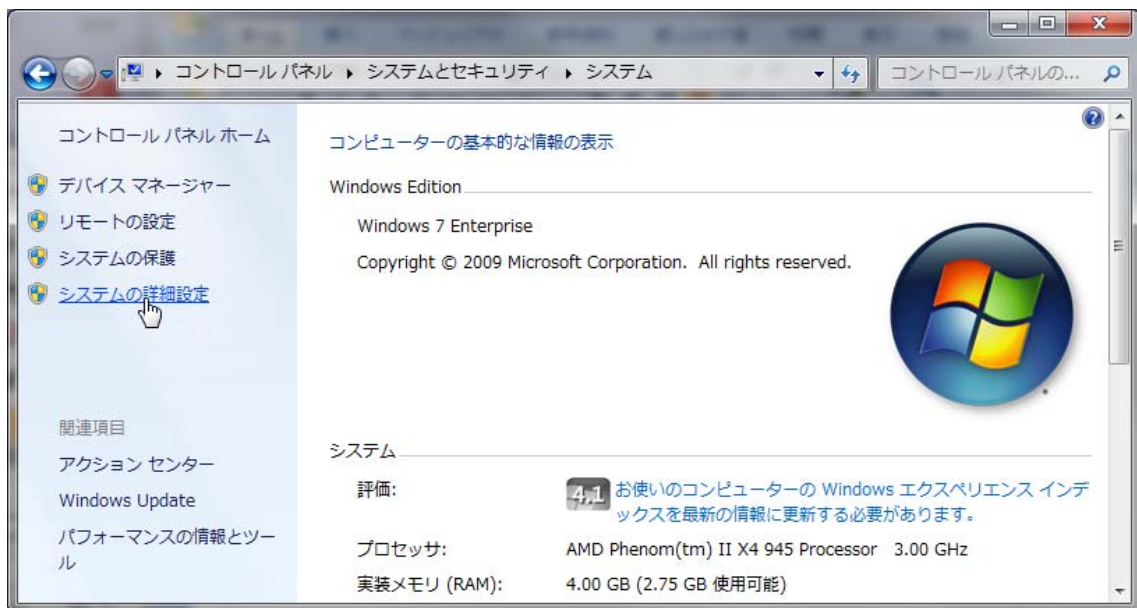
(1) [コントロールパネル] → [システムとセキュリティ] と選択する



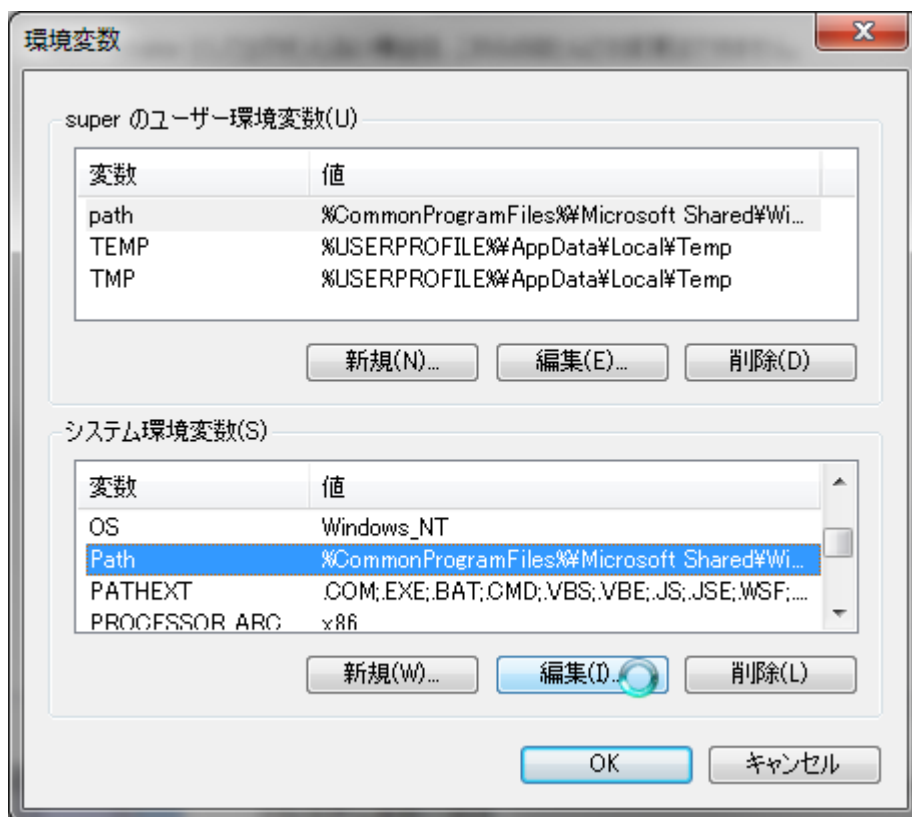
(2) [システム] を選択する



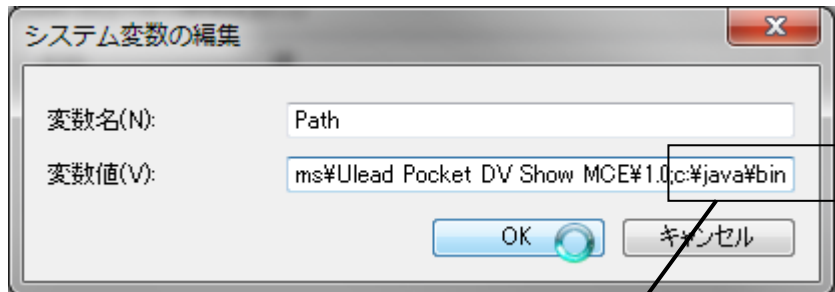
(3) 「システムの詳細設定」を選択する



(4) システム環境変数の中の Path をクリックしてから、[編集] ボタンをクリックする



- (5) パスの変数値欄（下段）で、最初から書いてある記述を消さないように注意して、末尾に java システムのパスを追加する。



; c: %j ava%bi n

追加するには、区切り文字として、最初にセミコロン（;）を書くことに注意してください。
あとは [OK] ボタンを次々にクリックして、元の画面に戻ると完了です。

[2] プロジェクトレイアウトを変更する

本書 458 頁では、次のようにしてプログラムを実行しています。

```
c: ¥myspace¥chap17>j ava sampl e/RunTest
```

このように実行するには、プロジェクトを作成する際に、プロジェクトレイアウトを下記のように指定してください。これにより、java ソースコードとコンパイル済み実行ファイルが同じフォルダに作成されるようになります。

本書の初版作成時は、この設定が規定値で特に設定する必要はなかったのですが、Eclipse のバージョンが新しくなり、変更されたため、必要になりました。

<プロジェクトの作成>

